

定期作況報告

(平成 17 年 5 月 20 日現在)

北海道立天北農業試験場

I 気象概況

11 月 1 日から 5 月 20 日までの気象は以下のように推移した。

- 11 月：平均気温は上旬が 6.6℃（対平年値比+2.0℃、以下同様）、中旬が 4.3℃（+3.0℃）、下旬が 1.9℃（+1.9℃）と 3 旬とも平年より高かった。降水量は中旬が多かった。日照時間は下旬が 30.2 時間（179%）と平年より長かった。畑地温は上旬が 7.3℃（+1.5℃）、中旬は 7.8℃（+3.9℃）と平年より高かった。
- 12 月：平均気温は上旬が-0.6℃（+2.5℃）と平年より高かった。降水量は中旬が 74mm（255%）と平年より多かった。日照時間は下旬が平年より長かった。
- 1 月：平均気温は中旬が-4.7℃（+2.4℃）と平年より高かった。降水量は下旬が 47mm（174%）と平年より多かった。日照時間は 3 旬とも平年より短かった。
- 2 月：平均気温は上旬が-6.1℃（+1.4℃）と平年よりやや高かったが、中旬が-10.2℃（-2.6℃）、下旬が-8.1℃（-2.4℃）と平年より低かった。降水量は 3 旬とも平年より多かった。日照時間は下旬が 17.8 時間（50%）と平年よりも短かった。
- 3 月：平均気温は中旬が-1.5℃（+1.0℃）と平年よりやや高かった。下旬が 10mm（42%）と平年より少なかった。日照時間は 3 旬とも概ね平年並であった。
- 4 月：平均気温は下旬が 4.9℃（-1.6℃）と平年より低かった。降水量は中旬が 6mm（25%）と平年より少なかったが、上旬・下旬はそれぞれ 21mm（190%）、37mm（195%）で平年よりも多かった。日照時間は上旬が 34.8 時間（60%）と平年より短く、下旬が 36.9 時間（68%）と平年よりやや短かった。畑地温は下旬が 3.4℃（-1.8℃）と平年より低かった。
- 5 月：平均気温は上旬が 3.7℃（-3.7℃）、中旬 5.7℃（-3.7℃）と平年より低かった。降水量は上旬が 42mm（156%）、中旬が 46mm（271%）と平年よりやや多かった。日照時間は上旬が 17.0 時間（29%）と平年より短かった。畑地温は上旬が 3.9℃（-2.7℃）、中旬が 5.1℃（-2.9℃）と平年より低かった。

本年の降雪始は平年より 5 日早い 10 月 23 日であった。根雪始は平年より 1 日遅い 11 月 25 日であり、融雪期は平年より 12 日遅い 4 月 26 日のため、積雪期間は平年より 11 日長い 153 日であった。

4 月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年よりもやや低く、降水量は平年よりも多く推移している。

A. 季節表

項目 年次	降雪始 (月, 日)	根雪始 (月, 日)	融雪期 (月, 日)	降雪終 (月, 日)	積雪期間 (日)	耕鋤始 (月, 日)	晩霜 (月, 日)
本年	16年10.23	16年11.25	17年 4.26	17年 5.11	153	17年5.3	17年5.14
平年	10.28	11.24	4.14	4.27	142	4.24	5.7
比較	△5	1	12	14	11	9	7

注) 降雪終、晩霜は 5 月 20 日現在。

B. 気象表

項目 月旬	平均気温 (°C)			平均最高気温 (°C)			平均最低気温 (°C)			降水量 (mm)			降水日数 (日)			日照時間 (hrs)			畑地温 (10cm, °C)			最多 風向	平均風速 (m/s)
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較		
16年 上	6.6	4.6	2.0	10.1	8.0	2.1	2.7	1.2	1.5	12	45	△33	5	7	△2	20.3	24.3	△4.0	7.3	5.8	1.5	SSW	2.0
11月 中	4.3	1.3	3.0	8.1	4.0	4.1	1.0	-1.7	2.7	54	33	21	5	7	△2	27.3	18.9	8.4	7.8	3.9	3.9	WSW	1.8
下	1.9	0.0	1.9	5.1	2.7	2.4	-1.3	-3.0	1.7	21	57	△36	6	8	△2	30.2	16.9	13.3				W	2.4
12月 上	-0.6	-3.1	2.5	2.0	-0.7	2.7	-3.5	-5.8	2.3	61	36	25	7	8	△1	16.3	14.2	2.1				W	2.7
中	-4.6	-4.9	0.3	-1.1	-2.2	1.1	-8.9	-8.1	△0.8	74	29	45	9	8	1	11.6	15.9	△4.3				W	2.1
下	-6.4	-5.3	△1.1	-3.1	-2.6	△0.5	-10.2	-8.6	△1.6	30	28	2	8	8	0	26.6	17.0	9.6				WSW	2.4
17年 上	-6.2	-5.6	△0.6	-3.1	-3.0	△0.1	-10.8	-8.8	△2.0	55	36	19	9	8	1	8.6	14.8	△6.2				SSW	1.4
1月 中	-4.7	-7.1	2.4	-2.1	-4.3	2.2	-8.8	-10.5	1.7	15	25	△10	6	7	△1	10.6	16.6	△6.0				NNE	2.2
下	-8.4	-7.4	△1.0	-5.4	-4.3	△1.1	-12.0	-11.2	△0.8	47	27	20	10	8	2	14.7	22.0	△7.3				SSW	2.3
2月 上	-6.1	-7.5	1.4	-2.5	-4.2	1.7	-10.7	-11.5	0.8	27	16	11	8	6	2	21.1	29.4	△8.3				SSW	2.0
中	-10.2	-7.6	△2.6	-5.9	-3.9	△2.0	-15.5	-12.5	△3.0	37	19	18	8	6	2	26.9	33.7	△6.8				SSW	2.0
下	-8.1	-5.7	△2.4	-4.6	-1.8	△2.8	-13.3	-10.5	△2.8	34	15	19	8	4	4	17.8	35.9	△18.1				WSW	1.9
3月 上	-5.2	-5.7	0.5	-1.7	-2.4	0.7	-9.6	-10.2	0.6	21	15	6	9	5	4	40.7	43.5	△2.8				SSW	2.4
中	-1.5	-2.5	1.0	1.3	0.9	0.4	-5.3	-6.5	1.2	20	17	3	5	5	0	39.9	47.2	△7.3				SW	2.9
下	0.0	-0.4	0.4	2.8	2.7	0.1	-2.7	-3.9	1.2	10	24	△14	3	6	△3	43.5	47.5	△4.0				WSW	2.7
4月 上	1.7	1.9	△0.2	4.9	5.3	△0.4	-1.4	-1.8	0.4	21	11	10	6	4	2	34.8	58.2	△23.4				SW	2.4
中	3.0	4.0	△1.0	6.9	7.9	△1.0	-0.9	0.2	△1.1	6	24	△18	4	4	0	60.5	48.5	12.0				SSW	1.9
下	4.9	6.5	△1.6	8.4	11.2	△2.8	1.8	1.9	△0.1	37	19	18	5	4	1	36.9	54.6	△17.7	3.4	5.2	△1.8	SW	2.7
5月 上	3.7	7.4	△3.7	6.2	11.6	△5.4	1.6	3.2	△1.6	42	27	15	8	4	4	17.0	57.7	△40.7	3.9	6.6	△2.7	SW	2.4
中	5.7	9.2	△3.5	9.7	13.4	△3.7	1.6	5.1	△3.5	46	17	29	2	3	△1	63.4	49.9	13.5	5.1	8.0	△2.9	E	2.3

- 注1) 平年値は前10か年の平均値。
2) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値
3) 平均畑地温は天北農試のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。
4) △印は対平年値減を示す

C. 主要気象要素積算値（4月21日～5月20日現在）

	平均気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (°C)
本年	143	125	117.3	124
平年	231	63	162.2	198
比較	△ 88	62	△ 44.9	△ 74

Ⅱ 作 況

1. 牧草

1) 採草型 チモシー

作況：不良

事由：冬損は見られなかったが、融雪期の遅れとその後の低温で萌芽期は大きく遅れ、5月20日の草丈も短かった。

よって、現在の作況は不良である。

調査項目

萌芽期 (月.日)			冬損程度 (1 無または微～9 甚)			草丈 (cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5. 6	4.20	16	1.0	1.0	0	15	38	△23

注 平年は前3年の平均値

2) 放牧型 ペレニアルライグラス

作況：不良

事由：冬損程度はやや多かった。融雪期の遅れとその後の低温で萌芽期は大きく遅れ、5月20日の草丈も短く、収量も少なかった。

よって、現在の作況は不良である。

調査項目

萌芽期 (月.日)			冬損程度 (1 無または微～9 甚)			草丈 (cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5.16	4.26	20	3.0	2.0	△1.0	12	25	△13

注 平年は前3年の平均値

生草収量 (kg/10a)			乾物率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
14	348	△334	25.0	22.1	3.9	4	76	△71	5

注 平年は前3年の平均値

Ⅲ 作況調査耕種概要

1. 牧草

1) 供試草種・品種および播種量

草 地	草種名	品種名	播種量 (kg/10a)
採草型	チモシー	ノサップ	1.5
放牧型	ペレニアルライグラス	ポコロ	2.0

2) 調査方法

①施肥量 (kg/10a)

	N	P ₂ O ₆	K ₂ O	炭カル	堆肥
1 年目	4	20	6	250	5,000
2 年目					
採草型	16	6	15	—	—
放牧型	15	6	15	—	—

注) 1 年目草地利用後の追肥は 2、3 年目と同様

2 年目草地の採草型は、早春、1 番草および 2 番草刈取り後に均等分施

2 年目草地の放牧型は、早春および 1～5 番草刈取り後に均等分施

②調査対象 2 年目草地

③播種日 2 年目草地：平成 16 年 5 月 28 日

④播種法、供試面積、反復数（採草型、放牧型とも）

条播（畦幅 30cm）、1 区面積 5.4m²（畦間 30cm×畦長 450cm×4 畦）、反復数 4

⑤刈取り 採草型 3 回

放牧型 6 回（5 月から 10 月まで毎月 20 日）

Ⅳ 作況報告対象草種等の変更について

平成 14 年度まで、散播・混播による採草型 2 タイプ（TY・RC、OG・RC）、放牧型 2 タイプ（OG・WC、PR・WC）の作況報告をしていましたが、平成 15 年度から条播・単播による採草型（TY）、放牧型（PR）それぞれ 1 タイプに変更しました。

なお、2 草種については、平成 13 年度の造成より調査を開始しており、今年度の平年値には平成 14 年度～16 年度の 3 か年の平均値を参考値として記載しています。